常磐毎日新聞
日刊
八月廿八日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 福島縣平町字長橋町三五番 坂本忠佑
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 (振替口座)東京 四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北東の風曇
明日は南東の風曇後晴

眼前に出征を控へ 不貞な妻に泣く

▽……不運な勇士の嘆願 平署に照會來る

出征を眼前にひかへて不貞な妻に泣く勇士が子供のため是非妻を取戻して下さいと懇願、人々のひとみをぬらした哀話がある――廿七日午後四時頃福島署に物想ひにしづんだ中年の男がおとづれ

私は明廿八日いよ／＼出征することになつたのですが最後にお願ひがあります

と眞剣な面持ちで訴へるので矢部次席が事情をたゞすとこの男は市內宮の內三七に生花師匠をしてゐる登坂良斬さんで過日召集され出發はいよ／＼今日にせまつたが何故か妻のまささんは去る一日七歳と四歳の子供を殘し二歳の末子をつれ無斷家出をなし石城郡內郷村金坂の安齋龍之助氏かたに身をかくしてゐることを知つた夫良斬さんは手紙や電報で再三歸宅をすゝめたが返事一つくれない不貞さに哭いてゐる父親良斬さんはいよ／＼廿八日出征を前にして母の名を呼んで泣き叫ぶ子供等のためにも是非歸宅するように取計つて下さいと懇願したものである、この哀れな事情を聞いた矢部警部はこの不貞な妻を持つ不運な勇士を心置きなく第一線で活躍できるやうに早速平警察署に委細を急報し來り嚴重訓戒を與へる一方留守宅の生活に困るやうなことのないやうに軍事援助法を發動してくれと市役所に種々な手續きをとつた

訓盲院生徒の汗の結晶献金

既報磐城訓盲院中等科生徒の佐藤一郎、松本七之助、宗像利一、佐々木勝雄の四君は時局に發奮して生徒等の間を說き廻り暑休を利用して半額で肩を揉んだ金三十圓三十錢を取纏め今廿八日平署へ國防献金に寄託した、尚其後同署への献金寄託者は左の如くである

△五圓中平窪金田忠八さん外八名△三十二圓四十錢赤井村山口炭礦從業員△二十圓平自動車用品商組合△五圓豊間村原町六一四家東次郎さん

青竹筒を抱へて 街頭に起つ健兒

爆彈三勇士の氣慨 平少年團の献金行

軍國一風景

平少年團は銃後に在る小國民の赤誠を披瀝せんと聯盟本部の指令に基き明廿九日及び卅日の兩日健兒を午前と午後の二班に分れて平驛前、常陽銀行前、マルトモ前、其他の街頭に進出、國防軍用機献納の献金募集に甲斐々々しく働く事となつたが献金の青竹筒を三人が抱へて爆彈三勇士の氣慨を示す健兒達の姿は軍國熱の旺盛さに一層拍車を掛けて止まず行人の眼を引き相當の成績を擧ぐるであらう

尚今廿八日夜は三夜尊の祭禮で人出に賑ふので有志健兒が『決死隊』の名稱で出動左側通行の交通整理の傍ら献金を募集すると

青年學校の査閲

執行官は中村中佐 郡下の日割が決定

縣下に於ける青年學校の今年度教練査閲は來月早々會津地方をトップに執行されるが本郡下の日割は左の如く決定された、査閲官は中村中佐である

△十一月十三日四倉、大野、大浦(四倉校)△十四日上下小川、赤井第一、第二(上小川校)△十五日川前、桶賣(桶賣校)△十六日三坂(下三坂校)△十八日永戸、澤渡(永戸校)△十九日好間、箕輪(好間第二校)△二十日平市(第一校)△二十一日入遠野、上遠野(上遠野校) △二十二日 田人(同)△二十三日勿來、川部、錦(勿來校)△二十五日植田、菊多、山田(植田校)△二十六日泉、玉川(泉校)△二十七日小名濱、江名、鹿島(江名校)△二十八日磐崎、渡邊(藤原校)△二十九日湯本(同實業專修) △三十日內郷(同鑛業同鑛業校)△十二月一日飯野、高久、豊間(高久校)△二日夏井、草野、神谷(夏井校)

爆破最中に

破片突き刺る

內郷村大字宮字平太郎磐城炭礦準社員小豆畑忠清(三四)君は昨二十七日午前八時頃町田坑內で爆發作業監督中爆破の破片が前額部に突き刺り腦漿露出や骨折の重傷を負ひ目下手當中だが生命危篤

天理教の時局講演

天理教會平分會は今二十八日午後二時から同所で時局講演會を催した講師は本部特派員篠楠一陸軍步兵中佐中村貫一の兩氏

海で鍛へた效果が現る

第一の日歸り臨海學校

既報去る一日から一週間新舞子に日歸り臨海學校を催した平第一校は過般來これが參加兒童四年生以下八十四名の体重を調査したが著しきものは四百二十匁平均百五六十匁宛增加し頗る好成績を示した尚今後各家庭に於て相當の注意を加ふれば健康增進上最も效果が現れると觀られてゐる

平署の肝いりで 苦界の足を洗ふ

有難涙に暮れ乍ら けふ親許へと歸る

既報醜業を强ひられるのを耐えかねて抱え主方を脫出、內郷村常光院の亡母の墓前で自殺せんとして果さず市內鎌田橋上に悄然と佇んでゐたところを平署員に救はれた相馬郡小高町生れ東京市本所區洲崎町藝妓置屋柴田靜子方藝妓川岸ふみ(二〇)さんは其後三丁目佐々木金次郎さん方に一先づ落付き平署猪狩次席警部の心配で抱主に交渉の結果二十七日前借五百三十圓は棒引きとなり苦界から足を洗つて『色々お世話になりました、御恩は終生忘れません』と嬉し涙に咽び乍らけふ東京市下谷區龍泉寺町青物商實父柳造さんの許へ歸つた

弓矢の守護神!

時節柄武運祈願に 八幡祭禮盛況豫想

市內縣社飯野八幡神社例祭は九月十五日に執行されるが祭神が譽田別尊であるから弓矢の守護神たる關係から軍人の家族は勿論、時節柄皇軍將兵の武運長久を祈る多數參詣人で例年以上の大盛況を豫想されるがこの日を當て込む玩具商人やせうが賣などは今から多大の張り込みで待ち構へてゐる

駈落娘に涙の捜索

市內南町四九仲本辰吉氏妻スイさんは二十七日平署に訪れ長女のクニ子(一九)が家出したが捜して下さいと涙乍らに訴へ出た語るところによれば舊盆十七日に當る二十二日クニ子は豫ねて好い仲の堤の內深谷一郎(二四)から來た手紙を家人に發見され強く叱責されたがそれでも親の眼を盗んで男の許に出掛けたまゝ二人は何處とも知れず駈落行方を晦したものだといふ

稻藏君は何處に

補充兵の大事な体

市內鍛冶町二二芝野端藏氏庶子稻藏(二六)君は昭和六年七月中家出したまゝ行方不明になつてゐるが同人は補充兵になつて居り此際是非共搜がし出さなくてはならぬとて今二十八日端藏さんから平署に搜索願があつた

商業美術の教育について (三)

平商業學校圖畫教師　齋藤久基

商業美術は目的を有する美術である。目的が有するが故にこの美術は合理的、科學的なる處理を受け、且つ組織的であらねばならぬ事を教へる。

今日の廣告といふも、商品といふも、陳列といふも、それが今日の消費者を相手として創作される限りは、根本的要素として、その目的が如何なるものかを知りその材料を如何に傳へるかといふことの智的なる苦心を必要とし、その訴求或は提示の方法に於て、心理學に立脚して、形態の有効性を增進せんがために審美的であり、且つ明朗なることが必要である。而してその表現の材料は、科學的であつて、且つ經濟的なる處理に俟つことが多いのである。

この三者の綜合工作の狀態は、人間の創作の理想を具現するものであつて、眞に善に美に、言葉を變へて一個の器物の創作に譬へれば、眞は質用であつて、善は良質にして堅牢に、美はその審美性を保有することを意味することになるのである。

卽ち、質用、經濟、鑑賞といふことは目的美術に於ける重大なる三角的頂點を意味するものとなる。商業美術中の廣告なる形態も常にこの三角的支配の中に作られる。卽ち傳へること眞實にして實効的に、その形式は善にして能率的に、效果的に、美にして、人々を十分魅惑する力を有してゐることを必要とされるのである。

この心掛は全く何物を作るに際しても必要なる條件であつて、この創作の習練は自然にこれ等の組織ある技術を體得せしめるのである。

然らばこれ等の習練はいづれの學課で敎へられて來たかといへば、今日までは圖畫教育といふものが大體その役割を演じてゐたやうである。然し今日までの圖畫教育では構成や組織といふことよりも、むしろ表現といふことに重點を置いてゐたが爲に商業美術ほど端的に効果を期待することは出來なかつたやうである。のみならず、今日までの圖畫教育では實際的効用的であるといふよりも、むしろ美術的非功利的であつて、圖畫教育は人間の情操生活を豊かにするといふ事が重點のやうであつた。

故に圖畫教育家の中には、圖畫科を以て精神教育であると看做し『藝術教育なるものは人をして純眞の境地に到らしめ原始人の心に歸らしむる所のものである。それは吾等が絶えず受けつゝある所の文明の中毒から吾等を救ひ出し、光明の世界法悅の世界に遊ばしめるものである。圖畫教育は視覺を通じてかゝる教養の一部を分擔する』(霜田靜思氏著新圖畫教育の建設より)との說をなす人がある。

◇

◇

好間堰水利議員

昨日選擧の結果

好間堰普通水利組合議員の選擧は既報の如く昨二十七日平市役所及び好間村役場の二ヶ所で行れたが當選者は左の如くである

猪狩誠一、吉田庄一、川島忠道、中村彌之松、叶多清、會川延太郎、鈴木倚、猪狩貞一、高木勇、木田孝平、

良繭出荷に 買氣が旺盛

四倉市場活況

既報早くも去る二十五日開場した四倉繭市場は連日活潑なる取引を行つてゐるが旱天のために氣遣はれた早蔟から來る糸量解舒不足の不良繭の出荷もごく少量で、意外の良繭出荷に買氣も目立つて旺盛である

梨立毛品評會

赤井に開く

赤井村の梨立毛品評會は來る三十、三十一の兩日青山郡農會技師審査の下に開かれる

早起の喜び

第三校黎明會

早起の奬勵である一方に心身を鍛錬する平第三校の黎明學校は既報の如く明後三十日午前五時一齊に全校生徒が登校朝會を催し日の出禮拜、國旗揭揚、宮城遙拜、國歌齊唱ラヂオ體操、奉仕作業等々何れも黎明の神秘を夫々體驗せしむる筈

國防後援

錦村の青年 献金を募集

既報錦村の男女青年團は過般結成した國防後援會の資金造成の爲め今明の二日間街頭に進出献金運動に從事銃後の强化を計る事となつた

震災記念日に

各學校の催し

市內各中等學校及び各小學校は來る九月一日の震災記念日當日をトし時節柄講演其他の方法で特に緊張味を徹底させやうと目下準備を進めてゐる

鮮人暴行

罰金八十圓

既報鑑定を頼んだ日本刀に難癖をつけられた場句へし曲げられたのを憤慨その刀で瀕死の重傷を負はせた半島人豊間村大字豊間古物商山田成男事趙龍在(三三)に係る傷害事件の公判は今二十八日午前十時から平區で野木判事係り大脇檢事立會の下に開廷されたが檢事から罰金八十圓の求刑あり判事からも卽決求刑通りの判決を言渡された

慰問袋寄贈

磐女三年生志賀勝代さんは今二十八日市役所へ慰問袋一ヶを寄託

營林署野球

濱通り營林署の對抗軟式野球大會は明二十九日浪江小學校々庭に擧行されるが平營林署は都合により出場しないと

古物商違反

勿來町大字窪田字町通り三三古物商松本助春(四五)は去月十八日頃自宅で同町鷲豊吉、藤森定吉の兩名から中古レール十本を買受け近所の齋藤ハナに賣渡し乍ら制規の帳簿に記載せず古物商取締法違反で今二十八日平區から略式罰金十圓

平市人事

回出生

△堂ノ前一六緒方誠吉氏四女トミ子さん

回婚姻

△茨城縣多賀郡磯原町大字豊田二一七大平利夫(二六)氏四ッ波字稈田六二小野キミ子(二三)さん△湯本町大字湯本字三函一五五若松治雄(二八)氏立町五一澄川美代子(二二)さん△大工町二二佐々木榮(二三)氏神奈川縣川崎市貝塚八川田操(二六)さん

平職業紹介所

⊠求人の部

△女工 四十歳迄 給料面談 尋卒程度
△鐵工 三十歳以下 給料面談 尋卒程度
△採炭夫 十八―四十才迄 日給一圓五十錢 尋卒程度
△印刷工 年令不問 委細面談 尋卒以上
△土工夫 教育年令不問 日給一圓二十錢
△雜夫 教育年齡不問 日給七十錢
△牛乳配達 三十才位 給料面談 高卒程度

⊠求職の部

△鐵工 三十一才 尋卒
△雜夫 二十二才 高卒
△土工夫 四十九才 尋卒
△漁夫 三十才 高卒

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇 天然記念物めぐり「北海道の植物」栃内吉彦
▼後六、三〇 うたのおけいこ「蛙の子ども」外 柴田秀子
▼後七、三〇 講演「上海はどんな處か」板垣修
▼後八、〇〇 義太夫「戀女房染分手綱」(重の井子別れの段) 竹本伊達太夫
▼後八、四〇 演劇三夜ラヂオドラマ「事變餘話女ごゝろ」花柳章太郎外
◀後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

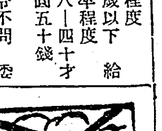
明日の部

▼前九、〇〇 朝のレコード音樂
▼前一〇、〇〇 日曜勤行
▼前一〇、四〇 趣味講演「東印度海上の原始の島々を探つて」宮武辰夫
▼後一、〇〇 社會見學
▼後一、二〇 長唄「安宅松」稀音家六伊根他
▼後一、五〇 日米對抗陸上競技(神宮競技場中繼)
▼後六、三〇 童話リレー「お月樣の見た話六つ」小林光江、大道淸子、山宮光子
▼後七、三〇 國民歌謠 水野康孝他八名
▼後八、〇〇 演劇三夜 舞臺劇「二條城の淸正」吉右衞門他
▼後九、一〇 ピアノ獨奏 宅孝二

平病院 (電六四一番)
平市警察署側(元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏

內科
小兒科 院長 醫學博士 鈴木定藏
產婦人科
一般外科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 部長 醫學博士 鈴木定藏
レントゲン科
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平

◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄(夜間診療ニ從事ス)(急患ハ此ノ限リニアラズ)
往診 隨時
◎病室完備……入院隨時
◎入院料 特等―貳圓 一等―壹圓五拾錢 二等―壹圓參拾錢 【自炊ノ便アリ】



白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春畫
村瀬春映畫
(劇上映上演禁止)

(二三九)……町奴操縱(四)

『御意の通りで……』

と、權兵衞も自分と同じ意見なところから、非常な興味と愉悅を感じて、知らず識らずに引入れられてゆくのであつた。

惣三郎は又冷たくなつた茶をぐつと飲んで咽喉を濕した。

『權兵衞さんもやつぱりさうした御意見をもつて居られますかな』

と、惣三郎は矢繼ぎ早に問ふて見た。

權兵衞の頑なだつた氣持が、やうやく緩んで來た。そして、何となく親しい友達と話し向ひになつてゐるやうな氣がした。

『元締は留守でございますが、いかゞでせうか、手前が御相手いたしますから、一獻御酒を差上げたいと存じますが……?』

と、權兵衞はニコ／＼して惣三郎の晴やかな顔を見ながら云つた。

惣三郎もわざと鷹揚さを見せて手を拍つた。

『ゆつくり用が濟んだら、御馳走になりませう。大事の用ぢやから』

『でも……[illegible]も困りませんから』

『いや。俺は非常に酒の方は弱くてな。醉つて來ると直ぐに公私の區別がつかなくなるので困る。はゝゝゝゝ』

『それは[illegible]何方も同じでございます』

と、權兵衞はそのまゝ[illegible]ひて[illegible]めずに口を噤んだが、何となく大事な用件といふのが早く聞いて見たいやうな氣持がしてならなかつた。

『甚だ[illegible]でございまするが一體今日わざ／＼お越し下されました用件といふのはどんなことでございましたらうか。手前のやうな者でも御差支へがございませんでしたらば、元締に代つて伺つて置き度いのでございますが……?』

『はゝあ。別に元締さんでなくつても好いのぢやが……もう一杯茶を御馳走して貰はうかね』

『さ。どうぞ』

と權兵衞は輕く手をうつた。

直ぐに女中が來たので、權兵衞は茶を持つてくるやうに吩付けた。

惣三郎は不圖こんなことを考へて見た。いつそ、權兵衞に[illegible]らずに、斯うした乾分の者共に相談した方が早く埒が明くかも知れないだらうと。

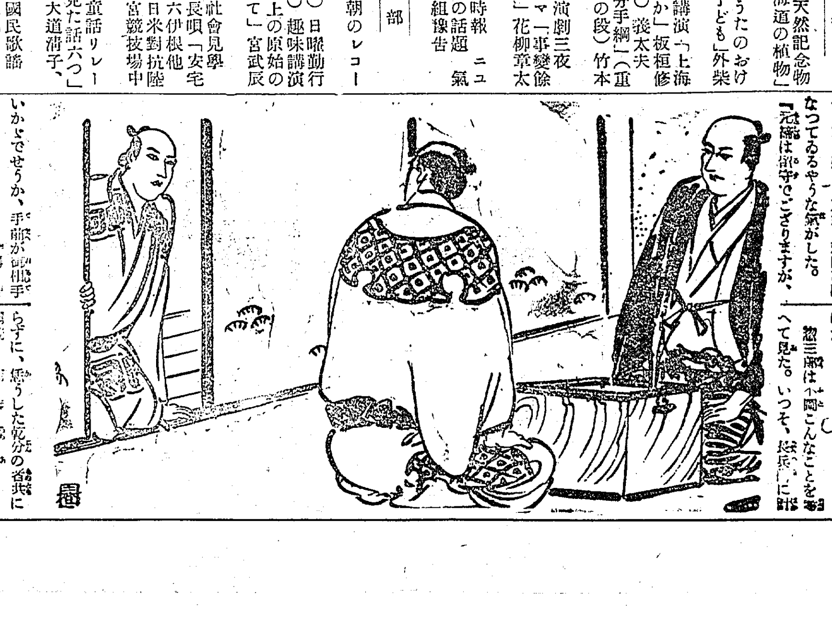
金次は茶を汲んで來て、惣三郎と權兵衞の前に置いて靜かに去つた。

『權兵衞さん。此方のお身內にはなか／＼腕の勝れた方があるさうですな』

と、まづ探りをいれて見た。

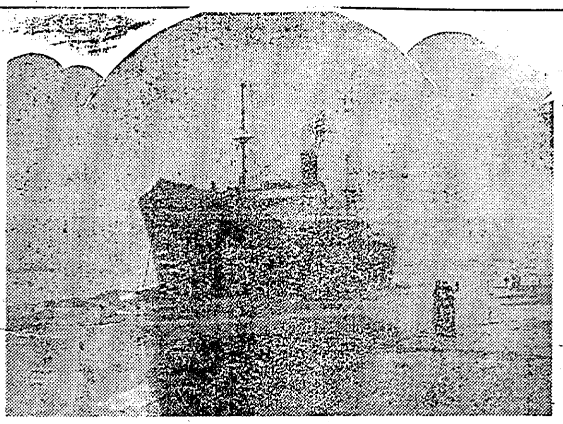
權兵衞の頭腦を[illegible]ふてゐた[illegible]が[illegible]きれて來た。そして、ます／＼興味と快感が胸に込み上げて來たのであつた。

『どう。お蔭でございまする。が、やつぱり手前どもの仲間にも、遊人から堅氣を考へた者も澤山にございまする、それに元締は以前やつぱり武士の[illegible]れの果なので、[illegible]さへございまするとの[illegible]街に[illegible]を出しますから[illegible]ぢやございませんが、[illegible]に[illegible]のものがございます』



船の中の樂しい 赤道まつり

初めてのお客はびつくり 海の神様がお免狀



日本は四面海の國です。けふは一つヨーロッパ通ひの船などがやるわけて樂しい船の中のお祭のお話をしませう（記者）

皆さん 私たちのすんでゐるこの世界がまるいものだといふことを學校でをそはつたでせう。地球はまるくて北の端を北極、南の端を南極といひ、兩極とも非常にさむくて一年中氷と雪にとざされた寒い地域がございます。その南極と北極から線をひいてみて丁度

その 眞ん中のところか、地球の一番外に出張り出たところです、その線を赤道と申します。世界の季節はこの赤道の關係で丁度反對になつてゐます。北半球がさむさで凍えてゐる時には、南半球の人々は、暑さにくるしんでゐます。丁度北半球にすんでゐる私たちには春がおとづれて梅や櫻がさきださうとしてゐるのに南半球では今丁度暑い夏がすぎて木々は眞紅葉をしてゐます。赤道といふものはこんな面白い線です

赤道といつても、この世界に線や筋のあるわけではなくまつたく地圖の上だけにかりに豫想したことで船乘りは太陽の位置からはかつて赤道のありかを知るのですところが赤道は今云つたやうに、たいへんに重要な線ですから、船がこの線の上をとほる時には、いろ〳〵と面白いお祭が行はれますいよ〳〵あしたは赤道を越すと云ふ晩には船乘りの中で、一番數多く赤道を越した人がお面をかぶつて

海の 神樣の代理となつて、船のお客に、いまゝでに赤道を越したことがあるかどうかをきいて歩きます。その時うつかりして「初めて赤道を越すんですよ」などと云つたらおしまひです。それはいよ〳〵今から赤道をこすといふ時間に、甲板の上で行はれるそのお祭を見物に行くと、海水着一枚になつた水夫がはじめて赤道をこす船乘りをまつぱだかにして石鹸を澤山ぬりつけ、用意してある水槽になげこんで、上らうとするとまたおさへつけて水をのませて

今度 はお客さんの番で、船に慣れてゐたお客さんはたちまち水夫がよつてたかつて着物を着たまゝに石鹸水をぶつかけて、水槽へなげこみます。この日に水槽へなげこまれた人はネプチューンといふ海の神樣の署名をした、赤道通過證といふものをもらひます。そしてその日の晩にはたくさんの御馳走が出るのですが、日本の船だと赤の御飯をたいてお祝ひをするのが普通です

夏に眠るお魚

アフリカの肺魚

肺魚といふおさかながアフリカや南アメリカ、オーストラリアなどにゐます、このおさかなはとても面白いくせをもつてゐるのです、その癖といふのは……丁度蛙などが冬になると地にもぐつて冬眠するやうに、この肺魚は夏になつて川の水が渇れはじめると川底に穴を掘つてその内でクルリと圓くなつてねむつてしまふのです、この肺魚の入つてゐる土をそのまゝ掘り出し歐州あたりにもつてゆき、水につけると中の肺魚は目をさまして泳ぎはじめるさうです

若し羽があつて飛べたなら？

どんな事になるでせう

もし皆さんの身體に羽があつて大空をどん〳〵とべるとしたら……とても愉快でせうね、愉快ばかりではありません、大空にむかつて高く飛べば飛ぶほど、からだの重量がかるくなるといふ現象をおこします、また皆さんがモグラのやうに地中にむかつてもぐつてゆくとまた同じやうな現象がおきて來ます。これは引力の關係です。地球の中心近くなつても地球からどん〳〵離れて行つても重量といふものは減るものなのです、どの位の割合で減るものかといふと……

○地球の表面上で體重百五十キロ、男女ノ川關のやうな人でも

▣地球の中心ではかると目方は零。

▣地球の中心から二千マイルのところではかると七十五キロ

▣地球表面では赤道に百五十キロ

▣四千マイルほど大空の上では三十七・五キロ

▣一萬二千マイルの上空では九・四キロしかありません

▣十六萬マイルの高さにくると地球の中心とおなじで零になります

笑話

ランプ

初めて電燈を見た親父、「これは、ひどく強い光りの出るランプだネ」

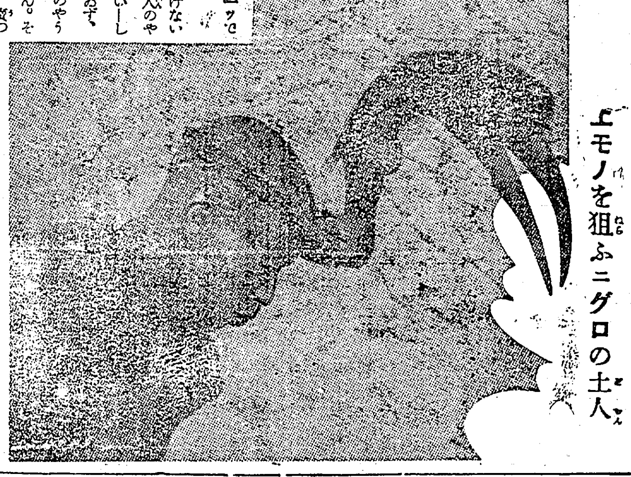
倅きまりわるく小聲で、「それは電氣の光りですよ」「電氣にしても、明るいランプぢや」

海外面白ニュース

うわッ！二つ頭か？

曲藝師か……さにあらず

坊主頭に野鳥をのせて エモノを狙ふニグロの土人



「頭は一ツよりも、二ツある方が利口なんだい！」なんていふワケぢやア、決してないんです。といつて、帽子代りのお洒落な飾りでもありません。有名なニグロの土人たちが、生きて行くためには、命より二番目の大切な稼業道具の一ツです

といふワケは、まだ開けない土人たちは、われ〳〵文明人のやうに「鐵砲」といふ恐ろしい――しかし、便利な武器をもつてゐず、何千年前の私たちの祖先のやうに、弓と矢しかもつてません。そこで、土人たちがたべたり、賣つてお金にかへる魚や、その他の獲物を射るためには、よほどそばへ近づかねばなりませんが、鳥や獲物の方でも[illegible]「あッ、またボク等を狙つてゐるな、だがいつまでその手にくひさせよウ」と、逃げちやいますから、ふかい草むらの中で腰をかゞめ、息をころして、野鳥の頭だけだして獲物にちかづき、トタンに毒矢をつがへて射殺さうといふのですが、さすがは南國[illegible]お利口ちやありませんか？はゝはゝゝ

少年少女でも 自動車の免許證が貰へる

チエツコスロバキヤで

チエツコスロヴアキアでは、このほど少年少女の若様にも、自動車運轉手免許證を與へることになつた。この許可證は町の自動車クラブから發行されるもので、自動車クラブでは、免許志望の少年少女諸君に對して自動車運轉に必要な交通知識をさづけ、また、交通巡査がわざ〳〵出張して、交通整理の講義をやる――などといふお念の入りやうです

××

試驗の時、生徒諸君は、進行停止の信號の見わけ方や、運轉手の心得などをかんでふくめるやうに教へられます。そして、第一期の試驗を終へ、交通規則を十分に守れるやうになつて、はじめて高等運轉手免許證をあたへられるのであります

子供面白科學

○

英領アフリカのウガンダ國へゆくと、象の脚で作つた傲致（？）袋の中へ赤ちやんを入れて町を歩くお母さんを見かけます。この袋は象の太い脚の先を切り離して、その中の骨と肉をえぐりだし、皮ばかりにしたものですその他象の指をきつて作つたパイプなどがあるとは、日本ではとても見られない珍品でせう。

○

百日間世間で使はれた紙幣には、おどろくなかれ！十萬に近いバイ菌がくツついてゐるさうですから、いくら大切な紙幣でも、家へ歸つた時など、その手でくちびるにふれてはなりませんぞ！これは、お父さんやお母さんにも注意してあげてくださ い。

五行ニュース

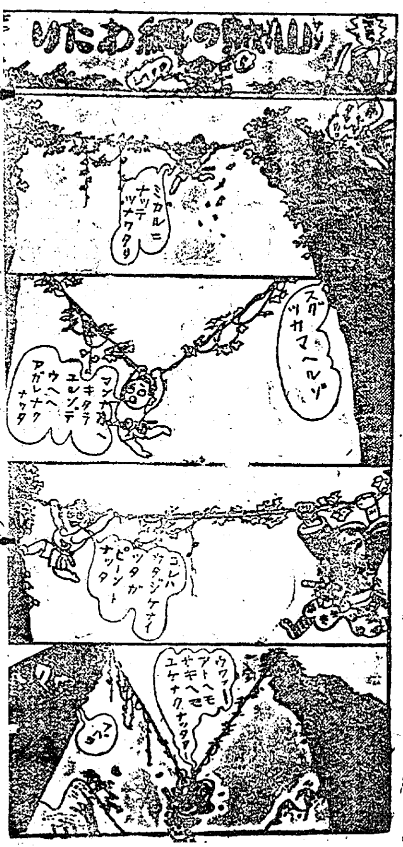
◉英國の郵便配達夫ジョセフ・シマンズ君が四十七年間に歩いた道のりが十五萬七千餘マイル。

◉印度では昨年毒蛇と猛獸の奇禍に遭つてたふれたものが二萬九百七十四人であるといふ。

◉科學界の驚異！佛國のダニエル博士は紫外線を利用して空中から食料を採る法を發見。

◉四十マイルはなれた土地にゐても、本が讀めるといふ大探照燈が米國で竣工した。二十億燭光。

◉霧や濃霧を透して遠距離撮影の出來る望遠鏡を最近米國陸軍省で發明した。


猿山の繪あたり
ミカルニナッテツナワタリ
スグツカマヘルゾ
マンナカヘキタラエレンデウヘヘアガレナクナッタ
コレハツタジケナイツタガピーントナッタ
ウファーアトヘモサキヘモユケナクナッタ
アッ

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀨春映（畫）

……二三九……

死者生者（五）

程經てビコルは、またターベー博士の室へやつてきた。

エリザの姿がきえてゐる。

彼は、正規兵たちの背後からどなつた。

「おい！ エリザをどうした？」

彼等は、一せいにこちらを向いた。實に職務の行とどいた兵士だちだ。

「ヘリザを、どこへかくしたといふのだ」

彼は、血眼になつてさけんだ

「一向に存じません」

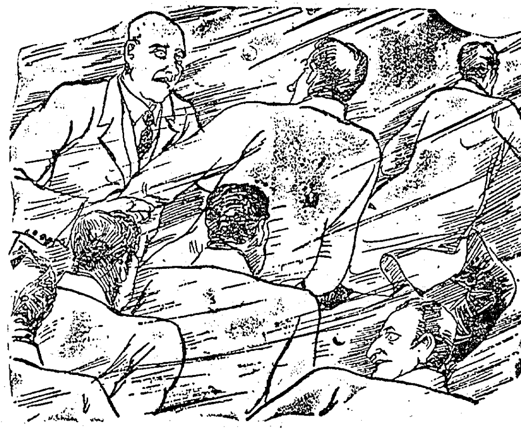
正規兵の一人は、ぽかんとした顔で云つた。

「ばか！、そんなことで守備がつとまるか」

「はい、つとまらないであります」

「しかしながら……」

「しかしながら、何だ！」



「はい、アメリカの兵士は、職を守る事を野ばん行爲と心得てゐます」

「誰が職をきれといつた。はらを切るどころではない、すぐにエリザの搜索に出ろ」

「はッ！ この邊を搜索いたしませうか」

「そんな事を、おれにきくやつがあるか、どこへでも出動して、エリザをさがして連れて來い」

「はッ！」

一隊の正規兵は、靴音高く廊下に室を出て行つた。

ビコルは、そのあとを見おくつてから、何かぶつ〳〵つぶやきながらおのれの室へもどらうと、二三歩足を運ぶと、急にまつたく不意に拔け道の穴の中が騷々しくなつた。

「うわ！」

「うわ！」

と洪水のやうなさけびをあげながら、群衆がこちらを指してなだれこんでくる樣子だ。

「おや」

彼は立ちどまつて、このただならぬ騷ぎの實體をたしかめやうとした。

「うや」

「うや！」

なだれを打つ群衆は、拔け道の出口にまで一氣にかけてきて、どつとばかり室中へはきだされた。

みんな白衣を着た、研究員だちだ。およそ七八十人が

「爆發た」

「爆發だ――」

とさけびながら、地下街の方へなだれてゆく。

「おい、どうしたのだ」

ビコルは、群衆の一人をとらへてたづねると

「はなせ――、愚圖々々してゐると命がない、はなせ、のけ」

とふりきつてゆく。

「一體、どうしたのだ」

彼は、第一の研究員の腕をつかんでたづねた。

「はなせ――、あぶない」

「何があぶないのだ」

「爆發だ」

「え！爆發？」

「地下の研究所が爆發だ。はやく逃げろ」

ビコルも色をうしなつて、反射的に地下街の方へ驅けだした。かけながら

「どうして、地下の研究室が爆發するんだ。それを防いだらいゝぢやないか」

驅けながら一人の研究員は

「もう間に合はないよ。手おくれだ」

その時、拔け道の穴から黑つ黑な煙が、もく〳〵と吹きだした。

「あつ――」

群衆は、逃げながら一せいにさけんだ。

と、つゞいて、物すごい爆音が何處からか起つた。

どゝゝゝどゝゝゝ。

おそろしい音響の爲に、地下街は、地しんのやうにゆれだした。

「爆發だ。畜生！おれの仕事の原動力が、畜生――爆破された」

ビコルは、群衆とゝもに逃げながらさけんだ。

どゝゝゝどゝゝゝ。

大音響が鈍く次いでおこり、たちまち、地下街は黑煙のためにおほはれ、地が大ゆれにゆれた。

難波醫院
內科一般
醫學博士 難波睦
看護婦募集
平市大町新川端
電話 五〇二番

旅舍 大和館
私は平市出生ですから特に鄉里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）
電話下谷六七七番

病室增築、手術室完備
產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町 電話三六九番

セメントは常陸（ヒタチ）
御用命は！
大谷建材店
平紺屋町（電三六六番）

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
內科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平市田町 電話五一三番

平市實現　こ「パーマネント」マシンの設備
時代の要求
女性の自然美
初夏に相應しい
永續性のある
ウエーブを
是非おすゝめ致します
最も安く！ 氣輕に！
そして親切に！
御値 七圓〇〇 五、〇〇〇 三、〇〇〇（カール一式）（高級藥品使用）
水野化粧院
平市驛前 電六七八
自宅 電五二五

季節……料理
江戶前
鳥・あわび
うなぎ蒲燒
やな川
仕出 迅速
魚榮
平市田町（電話四二四番）

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平市南町
電話一二九番

石炭 コークス 豆炭
ツ
阿部石炭店
平驛前 電三十七番

食洋と酒良
位本濟經
毎度有難う存じます
レストラント
平商舘
電624

歯科口腔外科
レントゲン科
院長 東京歯科醫學士 原精一
平市土橋通 電話三一番
原歯科醫院

初夏の氣分と行屆いたルーム
お出をお待ち致します
珈琲と御食事
グリル バツカス
電七〇二
◉女店員募集

國旗と提灯
平 スダ[illegible]

鈴木醫院
平市田町
電話五八番

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
體溫計 寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
◈寫眞材料一式販賣致シマス
關內藥局
電話四〇番

御贈答に……
鰹節
美味
鰹鹽から
貝燒
一
多田屋
志賀盛榮商店
平市四丁目 （電話二一三番）